

## 至福

教会での結婚式に招かれることがある。皆さんスピーチがお上手で驚かされる。先日も、

「結婚の婚という字は女性の氏が変わる日」という祝辞を述べておられ、甘いことを言うなあと感心したものだ。

じつは結婚とは人間が肉体を持つまでは魂と魂が結びつくことであった。故に結魂である。ある働きを生み出す為に別の系統の女性と結ばれ、一つの系統が生まれてくるの

である。つまり〇家と〇家の御両家の御婚儀なのである。故に式にはそれ以外の系統の方達は入らないのが一般的だ。だが式終了後は多くの人を招いて芽出度い発表の宴が開かれる。これが披露宴なのである。

先刻おじやました式には出席者全員が参列し、賛美歌を歌った。ちなみに賛美歌第三百十二番、「いつくしみ深き友なり去りたもう」は、結婚の直前に婚約者を失い、キリストの慰めを得て深い悲しみの中で作ったと

いわれる曲である。深い祈りの姿が浮かんでくるではないか。

教会と信徒、また寺院と檀家は、その宗教を信仰する者との関係だが、神社と氏子の関係は祖先と子孫であるから、親子の関係のように切っても切れないものである。つまり己と両親と近い先祖と遠い先祖が一本の線に繋がっているのである。たとえすべてが繋がってなくてもその土地の守護の神がおられる。故に産土神社を通してご守護を戴けるのである。

暑中お見舞い申し上げます